

社会福祉法人 秀和福祉会 基本理念

社会福祉法人秀和福祉会の法人理念として「一樹の陰一河の流れ」をかかげています。「縁」で結ばれた人達が、ゆったりと楽しい日々が送れますように願っています。

令和4年度 秀和福祉会 事業計画

介護老人福祉施設ゆうわ

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルスに対する感染予防対策の徹底を図り、ご入居者が安心して過ごせる環境を整え施設運営を行って参ります。

ご家族やご友人、知人と自由に会うことが出来ず、また少しの外出ですらままならない状況の中で、少しでもご入居者が笑顔になる時間が作れるよう職員一同努めて参ります。その為には、施設理念である「ひとり一人を大切に」を職員全員で掲げ、支援とは何か？介護とはなにか？自律とは何か？を考え、振り返る勉強会の実施、居室担当の意義や充実化を図り、一人ひとりの職員が、一年を通して介護に対する意識改革が行えるような取り組みを実施して参ります。

また、今年度はすべての「記録」についての見直しを行って参ります。今までの記録方法や、書き方について見直しを行い、専門職全員で再確認を行い、より良い「記録」が残せるよう、一年を通し取り組んで参りたいと思います。

コロナ禍に負けず、明るく笑い声の絶えない施設運営を行って参りたいと思います。

ショートステイゆうわ

新型コロナウイルスの影響が稼働率に大きな影響を受ける中、施設運営の中でショートステイの役割や意義を再認識し、今年度は稼働率を大幅にUPできるように取り組んで参りたいと思います。

感染拡大が広がる中で、どのような安全対策、感染対策を実施し、利用者を受け入れる事が可能かを、医務とも連携し再マニュアル化を行っていきます。

利用者、そのご家族が安心して利用して貰える環境を整え、「家と同じように安心して過ごせました」の言葉が貰える雰囲気作りを目標とし、そのためにはアセスメントの実施方

法を一から修正、確認し、個々のニーズをより細分化することに取り組んで参りたいと思います。

選んで貰えるショートステイを目指し、ご利用者、ご家族、関係機関、全てに対しての情報発信の充実化や、些細な情報交換、きめ細やかな心遣いができる事業所を目指し取り組んで参りたいと思います。

デイサービスセンターゆうわ

今年度もコロナ感染者ゼロを目指し、徹底した感染防止に努めます。

ワクチン接種も拡がりを見せ、少しずつ全てにおいて落ち着きがみられる今年度は、新しく前向きな一歩を進めるのではないかと期待しています。

認知症予防対策の強化やリハビリをかねて屋外への散歩など、気分転換になるようなイベントも少しずつ展開していこうと考えています。また、お待ちいただいている新規利用者様、体験利用者様の受け入れも様子をみながら進めていくつもりでおります。

有料老人ホームゆうわ

令和4年度も引き続き、感染予防対策の徹底を図り、ご入居者の多岐にわたるニーズに答えていきたいと思ひます。

有料老人ホームとして増床した10床を確実に稼働することを第一の目標とし、専門職で計画性を持って取り組んで参ります。それに伴い稼働率の上昇を目指し、安定した稼働率で施設運営が行えるよう取り組んでいきます。

また介護老人福祉施設ゆうわと同様、「記録」についての見直しを実施し、施設課として記録方法の統一を図りたいと考えています。

自立の方から、要介護5までのご入居者が生活される施設として、介護技術や接遇面の向上に力を入れ、どのようなご入居者でも万全な体制で受け入れる事のできる、技術や知識が身につくよう職員教育にも力を入れてまいります。

コロナ禍でも実施できる行事を積極的に取り入れ、ご入居者の楽しみや笑顔に繋がる支援も継続して行って参りたいと思ひます。

ケアハウス グリーンシティー秀和

ケアハウスで自立した生活を維持できるよう支援していきたいと考えています。

感染対策と行動制限については、感染予防用品の配布や館内の定期的な消毒を実施する事で、入居者各自の感染予防対策を積極的に実施するよう努めています。今後も継続して対策を取っていきたいと考えています。

ケアハウスは『終の棲家』ではなく、自立した生活が困難な状況であれば、介護付き施設等へ生活の場を切れ目なく繋いでいけるよう、入居者の身体機能などの状況把握に努めたいと考えています。

運営面としては、退去に伴う空室期間を限りなく少なくする事で稼働率向上に繋げたいと考えています。

入居相談や施設見学は増加傾向のため、丁寧に対応するよう心掛け、入居待ちの方を増やせればと考えています。

ケアプランセンター秀和会

令和4年度は担当件数の上限である、職員2人体制で利用件数79件を目標に運営をしていきたいと考えています。

地域包括支援センターとの連絡を密に取る事で、新規利用者の契約を安定して受けることが出来るよう関係機関と調整をしていきたいと考えています。

職員の感染予防策を徹底する事で、職員だけでなく利用者の新型コロナウイルス感染予防にも注意して運営していきたいと考えています。

つどいの広場秀和

大阪市役所や鶴見区役所や、子育て支援連絡会等で情報交換をして運営していきたいと考えています。また、開設から2年間の経験を活かし、子育て親子のニーズを把握して、子育て支援をしていきたいと考えています。

つどいの広場秀和が、子育て親子が安心して集まり、交流できる場所とすることが出来るよう、今後も環境を整えていきたいと考えています。